



週間情報



No.0714

発行日 令和7年4月15日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

消防本部の動き

行事

◆ 「震災時における杉並区内の地域防災力の強化に関する協定」を締結

東京消防庁(東京)

東京消防庁杉並消防署と荻窪消防署では、令和7年3月26日(水)、東京土建一般労働組合杉並支部と「大規模災害発生時における消防活動の支援に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害発生時において、東京土建一般労働組合杉並支部から消防活動を支援していただくことを目的として締結したものです。

また、杉並区と東京土建一般労働組合杉並支部が「災害時における震災救援所の応急対策業務に関する協定」を同日に締結しました。

この2つの協定は、消防署が地域と公的機関との連携強化を図るとともに、大規模災害発生時において地域で効果的な活動を行うことを目的として、地域と公的機関の橋渡し役となりながら協議を重ね、それぞれが締結したものです。

今後も、発生する可能性が高い大規模災害に備えるため、関係機関との連携強化を図るとともに、地域防災力の向上に努めてまいります。



【締結式後の記念撮影】

訓練

◆ 集団救急訓練を実施

那賀消防組合消防本部（和歌山）

那賀消防組合消防本部では、令和7年3月24日（月）、集団救急訓練を実施しました。

この訓練は、多数の傷病者が発生するさまざまな災害に対応するために、少人数で実施できる集団救急訓練を当消防本部が考案し、災害対応の原則であるCSCATTT（指揮命令・統制、安全、情報伝達、評価、トリアージ、治療、搬送）を習熟することを目的として実施したものです。

考案した訓練方法は、傷病者に見立てた毛布にトリアージのSTART法とPAT法の観察項目を記載したカードを貼り付け、想定内容に応じて毛布を配置し、出動隊の初動、傷病者の搬出、トリアージなどを行うものです。

当日は、高速道路の多重追突事故を想定した訓練を繰り返し実施し、集団救急事案が発生した際の各隊員の行動を確認することができたほか、隊全体の活動について習熟することができました。

今後も、あらゆる災害に対応するため、関係機関との連携強化を図るとともに、地域の安全確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「土砂災害対応訓練」を実施

石橋地区消防組合消防本部（栃木）

石橋地区消防組合消防本部では、令和7年3月28日（金）、当消防本部の敷地内において、「土砂災害対応訓練」を実施しました。

当日は、「土砂災害により建物が倒壊したほか、乗用車が土砂に埋もれている。」との想定で、当消防本部に配備している重機を有効に活用しながら倒壊建物の除去などを行い、実践さながらの救助活動を実施することができました。

今後も、実災害に近い環境下での訓練を継続し、現場対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 「ハラスメント・不祥事防止対策研修」を実施

成田市消防本部（千葉）

成田市消防本部では、令和7年3月18日（火）、21日（金）の2日間、全職員を対象とした「ハラスメント・不祥事防止対策研修」を実施しました。

この研修は、不祥事を発生させないことを目的として実施したものです。

当日は、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師としてお招きし、消防本部におけるハラスメント対応策や指導方法などについてご講義いただきました。

また、グループワークも行い、ハラスメント・不祥事防止について再認識することができました。

今後は、本研修で学んだことを生かし、組織全体で誰もが働きやすい職場づくりに努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 「車両火災原因研修会」を実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和7年3月26日（水）、「車両火災原因研修会」を実施しました。

当日は、自動車会社を経営する元消防団分団長の山田氏を講師としてお招きし、普通乗用車の構造、仕組み、火災の原因となりやすい部品、サービスプラグの仕組みなどについて実際の車両を活用しながらご説明いただき、消防活動に必要な技術の向上につなげることができました。

研修会を通じて、電気自動車やハイブリッド車の事故対応時における特有の危険性を認識することができ、大変、有意義な研修会となりました。

今後も訓練を継続し、隊員自らの安全な活動を目指して、消防活動に必要な技術の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 「消防防災フェア」を開催

糸島市消防本部（福岡）

糸島市消防本部では、令和7年3月23日（日）、「消防防災フェア」を開催しました。

このイベントは、令和4年度から開催しており、毎年、大変ご好評いただいています。

当日は、1,300人以上の市民が来場し、TNCアナウンサーの浜崎日香里氏を一日消防長に委嘱して、防災力の強化と火災予防について広報していただきました。

また、小さな子どもたちを対象とした水消火器体験では、最初は戸惑いながらも訓練用の火を消火することができ、楽しみながらも学ぶ姿を見ることができました。

今後も、「消防防災フェア」を継続し、市民の皆さまに楽しみながらも防災意識を高めていただけるイベントを企画してまいります。



【広報活動の様子】



【水消火器体験の様子】

◆ 消防職員などをモデルにしたポスターと漫画を制作

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和7年3月27日（木）、火災予防業務に携わる消防職員などをモデルにしたポスターと漫画を制作し、報道機関などに披露しました。

このポスターと漫画は、地域全体に対して火災予防の重要性について周知することを目的として、予防課職員が企画し、松本国際高等学校（マンガ・イラスト専攻）にご協力いただいて制作したものです。

制作した作品は、ポスターとショート漫画をそれぞれ1作品と4コマ漫画7作品を制作し、ポスターでは、女性職員が「火災予防 命を守る最初の一步」とのキャッチフレーズで査察の現場に駆け出していく姿を描いています。

また、ショート漫画と4コマ漫画では、普段はなかなか目にすることのない立入検査の様子などをわかりやすく、親しみやすい形で表現しています。

今後は、完成した作品を動画やSNSなどを通じて広く展開し、少しでも多くの人々の心に響き、予防意識を高めるきっかけとなることを期待しています。



【ポスター作品】



【ショート漫画の一部】

◆ 消防音楽隊の解散式を実施

若狭消防組合消防本部（福井）

若狭消防組合消防本部では、令和7年3月28日（金）、若狭消防音楽隊の解散式を実施しました。

若狭消防音楽隊は、昭和38年以降、防火・防災思想の普及啓発を推進することを目的として、消防出初式をはじめ、各地域の行事に参加し、住民と消防を結ぶ架け橋として火災予防活動を続けてきました。

当日は、消防長が管理者へ隊旗を返還し、住民や隊員などから惜しまれつつ、61年の活動に幕を下ろしました。

今後は、CATV・HP・SNSなどを活用した火災予防に関する広報活動に努めてまいります。



【解散式の様子】



【解散式後の記念撮影】

◆ 山林火災予防緊急広報を実施

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和7年3月18日（火）から28日（金）までの期間中、管内のハイキングコースを中心に山林火災予防緊急広報を実施しました。

この広報は、全国で大規模な火災が発生していることから、山林火災を防止することを目的として実施したものです。

期間中は、ハイキングコースで出会ったハイカーに火の取り扱いを注意するポケットティッシュを配布したほか、地元消防団とトランジスタメガホンを用いて広報を実施し、連携強化を図ることができました。

また、ドローンを運用する部隊にあつては、ドローンに付属するスピーカー機能を活用した広報を広範囲にわたり実施しました。

今後も、山林火災予防広報を継続し、管内の豊かな自然を守ってまいります。



【広報の様子】

消防庁通知等

◆ 住宅用火災警報器等及び消火栓の配布モデル事業への協力について

(事務連絡、令和7年4月4日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・政令指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記について、一般社団法人全国消防機器協会から事業の実施に係る協力依頼がありました。

(別紙参照)

本事業は、消防庁が実施している「住宅防火・防災キャンペーン(実施期間9月1日～9月21日)」にあわせて実施されるもので、高齢者等世帯に対し無料で住宅用火災警報器等を配布する事業です。また、令和7年度につきましては、自衛消防組織における屋内消火栓設備による初期消火能力向上の支援を行うため消火栓配布事業モデルについて新たに実施されることとなりました。

(別紙省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20250404_yobo1.pdf)に掲載されています。

【担当】

消防庁予防課予防係 谷川・高木

電話：03-5253-7523

E-mail:r2.takagi@soumu.go.jp

報道発表

◆ 「閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令(案)等に対する意見公募

(令和7年4月4日、消防庁)

消防庁は、閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令及び消防法施行規則の一部を改正する省令(案)等について、令和7年4月5日(土)から令和7年5月9日(金)までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250404_yobou_1.pdf)に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課 高木補佐、松下

TEL 03-5253-7523(直通)

E-mail:yobo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0617）1ページ、機関誌「ほのお」2024年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西・児嶋

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。